

ヲ薩摩華菱ト云、香味トモニ薄クシテ劣レリ、下品ナリ、今花戸ニ漢種ノ華菱ト云モ、ノアリ、三白草ノ夏ニ至テ、葉白クナラザルモノナリ、花實モ三白草ニ異ナラズ、華菱ニ非ズ、

〔草木育種_{下品}〕防風。是は藥に入なり、料理に用るぼうふうとは別なり、防風は享保年中、漢種渡今多し、山畑の野土厚き地に植べし、春種を蒔なり、又舊根を植るには二三月よし、竹にて穴を深くあけさし入て土を柔にすべし、尤畑を冬中に肥置べし。

〔本草辨疑_二〕芎藭。

中古漢ヨリ不渡シテ、甚高直ニシテ一兩價銀十六錢スルコトアリ、庸醫用ルコト不能シテ和ヲ用ユ、其比和芎ヲ捨テ漢芎ヲ貴ブトイヘドモ、易求ニ任テ主能ノ擇ビナク、自然ト使覺テ、今ハ專ラ和芎ヲ貴ンデ漢芎ヲ賤ンズ、本朝ノ俗、諸藥ノ擇ヲ不知、皆藥家ニ任テ求之、故ニ其主能ノ差別ナク、卑キ價ノ高下ヨリ初テ用之コト、誠ニ口惜キ哉、明者可嘆之、諸藥皆如斯ナル故ニ、世ニ誤リ用ルモノ多ク有之、

〔農業全書_十藥種之類〕川芎

川芎も良藥なり、古は本朝にはなかりしを、寛永の比、長崎よりたねを傳へ來て、大和にて多く作る、其外諸所に作るは性よからず、

〔和漢三才圖會_{九十三}〕鬱金_{○中}略

按古者自暹羅多來、故今自廣東及南京福州少來、亦皆稱暹羅鬱金、又自琉球多來、其佳者名御物色濃黃也、故紅帛下染可用、暹羅染、櫛紙等可用、琉球、凡鬱金染黃色、加酸少許、良、宜陰乾、如直見日則不鮮、既爲衣後亦不可中於日變色、

〔物類品隲_三〕延胡索。和產所在ニアルモノ、花葉頗相似タリトイヘドモ、根ノ色白甚小ニシテ不

堪用、漢種上品、享保中種ヲ傳フ、大葉小葉ノ二種アリ、俗牡丹葉延胡索ト云、葉形三叉ニシテ微ク